

きずな KOBÉ

第24号
March 2023



アンケートにご協力ください

きずな・KOBÉ第24号はいかがでしたでしょうか？ご覧になった感想をお寄せください。お寄せいただいた方の中から抽選で5名様に、下記の商品をプレゼント！

応募締切 令和5年3月24日(金)

QUON CHOCOLATE神戸店より お菓子の詰め合わせ

今号で紹介した福祉のお店「QUON CHOCOLATE 神戸店」のチョコレートの詰め合わせをプレゼント。
オレンジ、プレミアムテリーヌ、テリーヌの3種類が詰まったすてきなギフトBOXです。



チョコレート
(3種)の
詰め合わせ 5名様

応募方法

はがき、Eメール、右記のQRコードより

名前、住所(〒)、連絡先(TEL・FAX・Eメール等)、年齢、どこで本誌をご覧になったか、本誌へのご感想を明記の上、下記までご応募ください。当選者の発表は発送をもって代えさせていただきます。

ハガキ 〒651-0086 神戸市中央区磯上通3丁目1-32
神戸市社会福祉協議会 地域支援部「きずなKOBÉ」プレゼント係宛
Eメール kouhou@with-kobe.or.jp

Google
フォームから
ご応募



読者の声

Voice
～第23号に寄せて～

きずなKOBÉを読んでファミリー・サポートセンターの存在を知りました。依頼会員、協力会員がお互いに協力して地域で子育てができるのはすばらしいことです。いろいろな場所でこの輪が広がることを願っています。
K.Oさん(73歳)

ママノハコ素敵ですね。私も、利用してみたいな～。息子もやっと3歳になり、少しですが自分の時間が作れるようになって、ホッとしています。ママノハコさん頑張ってください！
M.Oさん(44歳)

小春日和さんのブローチを以前手作り市で買わせていただき、服によくつけさせていただいています。可愛くて本当に気に入っています。またお店にもぜひお邪魔したいなあと考えております。これからも素敵な作品を作り続けてください！
A.Nさん(48歳)

トヨタの福祉車両「ウェルキャブ」を 実際にさわって体感できる、



常設展示場が
神戸にあります！

カタログだけではわかりづらい、実車の使い勝手や機能・操作の確認をしていただけます。専任のスタッフが、お客様のご要望に適したクルマ選びのお手伝いをいたします。販売につきましては、ご希望の販売店をご紹介します。皆様のご来場、お待ち申し上げます。

トヨタウェルキャブ 総合展示場
トヨタハートフルプラザ神戸
〒650-0023 兵庫県神戸市中央区栄町通7-1-3 2F・3F



営業時間 午前10時～午後6時
定休日 毎週月曜日および第3火曜日
(祝日の場合は翌日)
TEL 078-366-1616
FAX 078-360-0399
詳しくは右記のQRコードより
ホームページをご確認ください



特集1

25年間受け継がれた“先輩の教え”
～大学生のボランティア活動のヒケツ～

特集2

こうべ こどもの居場所づくり

こどもの学習会「みんなのLuck Field」の得平奏音さん・吉野花さん・岡田響稀さん

神戸大学ボランティアサークルN.A.C. (灘地域活動センター)



私もやっとなー！福祉のまちづくり
いっしょに勉強、いっしょに遊ぶ
～高校生だからできる“こどもの支援”～

おいしい！かわいい！福祉のお店
QUON CHOCOLATE 神戸店

- 神戸市社協 News
- 読者の声&プレゼント

きずな KOBÉ

第24号 2023年3月発行

発行 社会福祉法人 神戸市社会福祉協議会
〒651-0086 神戸市中央区磯上通3丁目1-32
こうべ市民福祉交流センター 4階
HP: <https://www.with-kobe.or.jp/>
TEL: 078-271-5317 FAX: 078-271-5366
製作 株式会社きかんしコム

「きずなKOBÉ」では、
企業等の広告を募集しています。
広告掲載のお問い合わせは、
078-271-5317 神戸市社会福祉協議会
地域支援部 きずなKOBÉ 担当へ。

25年間 受け継がれた “先輩の教え”

大学生のボランティア活動のヒケツ

社会福祉協議会では、高齢者が地域で集える場づくりを推進しています。今回は、大学生のボランティア活動が、地域の団体と協力することにより、高齢者のふれあい喫茶を25年にわたり続けてきた活動をご紹介します。

取材させていただいた神戸大学ボランティアサークルN.A.C.は、大学生生活の4年間という限られた時間の中で世代交代をし、1997年から活動を続けています。インタビューする中で、楽しみながら活動を継続し、地域からも必要とされている様子などから、途切れることなく続いてきた秘訣を見ることができました。



灘地域活動センター (N.A.C.)とは

阪神・淡路大震災後の避難所支援をきっかけに活動開始。現在は、神戸大学の学生による「総合ボランティアセンター」と「学生震災救援隊」というボランティア団体のひとつのセクションとして活動しています。約10人のメンバーが分担しながら、灘区内2か所のお茶会運営や高齢者の戸別訪問などを行っています。

活動の様子は
こちらから！
新メンバーも
募集中です！



まじめなことも考えつつ、
普段はみんなでわいわい
楽しく活動しています。

今しかできない経験を！
ということで活動に
参加することにしました。



受け継がれてきた 活動のノウハウ

新入生は「楽しい体験」で活動に定着

参加者との会話やイベント企画など、1回生にはとにかく楽しいと思えることをやってもらいます。「学生の名札には出身地を書いて会話の糸口にする」、「お茶出しなど役割を持つと話しやすい」など、コミュニケーションのコツも伝え、地域住民とのつながりができるようサポートします。また、SNSでも活動についてこまめに発信し、新入生や地域の人に知ってもらえるよう工夫しています。

細やかなフォローで活動のスキルアップ

3・4回生を中心に、参加者と学生との会話のサポート、動きを指示するなど、場の状況をよく見てフォローをします。活動後のふりかえりでは、後輩の話をよく聞き、会話の引き出し方でよかった点、活動中に気になったことなどを共有して、次の活動につなげます。

一緒に活動しながら早めに引継ぐ

例えば、会計は2回生と3回生が一緒に担当し、2回生は先輩との実務の中で覚えます。また2回生になるとお茶会運営を任せられ、3回生で全体リーダーになるなど、早めの引き継ぎを意識して、常に上の学年がいる中で主となって活動していくサイクルになっています。

地域みなさんとの関係を大切に

様子が気になる高齢者についてはなごさふれあいのまちづくり協議会や自治会等のみなさんに相談するなど、地域の方々に支えられながら活動を重ねてきました。普段から地域の方への連絡を欠かさず行い、もちつき等地域行事へ学生も参加するなど、震災後から今まで築いてきたみなさんとの信頼関係を大切にしています。



コロナ禍で問い直した 活動の必要性

1回生の時は通常のボランティア活動をいくつか経験し、2〜3回生でコロナ禍での活動になりました。感染対策の準備もしていましたがお茶会再開の目途が立たず、モチベーションを保つのも難しくなる中、「なくても地域は困らないのではないか」と活動の存在意義を問う声もありました。

しかし地域活動が再開される中で、「お茶会、またしてくれへんかなあ」という声を聞けて、活動の必要性を改めて

実感し、2022年1月から段階的に再開しました。休止中、かつて参加された高齢者にハガキを送り続けた学生が、ようやくご本人に出会えて喜び合う姿が印象的でした。活動を続けていれば、必ず人と人とのつながりができると実感しています。

被災地支援も経験した先輩から「外から地域に入る場合、ボランティアが最善で唯一の選択ではない」ということは教わっていました。コロナ禍での活動を経験したからこそ「地域にとって必要なのか」という原点の目線を再認識できたと思います。



元N.A.C.代表
神戸大学4回生
池畑 空さん

20年来
参加している
高齢者も

活動 紹介

喫茶HAT

HAT神戸灘の浜にあるなごさ地域福祉センターで月2回隔週土曜日に開催。高齢者を中心に、近隣のこどもを含めて毎回約30人が参加。



学生さんは
みんな優しいよ！

お茶屋いわや
県営岩屋北町住宅の集会所にて月2回隔週土曜日に開催。高齢者を中心に毎回約20〜30人が参加。





こうべ こどもの居場所づくり

こども食堂や学習支援といった“こどもの居場所”活動が神戸でも急速に広がっています。現在神戸市内に238カ所(※2022年12月末現在)あり、それぞれの特色を生かした活動を展開しています。

地域で活動が広がっているだけでなく、このような活動を支えたいという声も社会福祉協議会にたくさんいただいております。「活動に参加したい」「活動を立ち上げたい」といった直接的な声をはじめ、企業としてお金や物資の「寄付で協力したい」という間接的な支援もたくさんいただいています。

このような社会情勢の中、神戸市内にどのような“こどもの居場所”があるのかをわかりやすくお伝えするため、このたび専用のホームページを立ち上げました。

これからも“こどもの居場所”への応援をお願いいたします。

メーカーのみなさん、流通のみなさん、
生産者のみなさんのご協力で支えられています。



こうべこどもの居場所づくり 事業事務局

神戸市中央区磯上通3丁目1-32
こうべ市民福祉交流センター
TEL: 078-271-5317
Mail: kurashi@with-kobe.or.jp

ホームページ

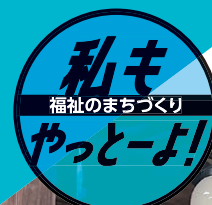


レシピ募集!

神戸市社会福祉協議会ではクックパッド公式キッチンを作成し、こども食堂で活用できるレシピを募集しています。レシピを提供いただくことで、実際の現場以外の場所からでも活動に参加いただけます。



応募先
<https://forms.gle/BdAV6FHyUTRgZ3wj7>



みんなのLuck Field

高校生が運営するこどもの学習会
東灘区御影本町にある西方寺で、月2回
土曜もしくは日曜の14時～16時開催。
参加無料。
(2023年2月末まで休止中)

いっしょに勉強、いっしょに遊ぶ
～高校生だからできる“こどもの支援”～

今回ご紹介する「みんなのLuck Field」は代表 吉野 花さんの「高校生だからできる支援がある」という思いをきっかけに高校生たちの力で立ち上がった団体です。立ち上げをはじめ、企画から当日の運営までの当時の様子についてインタビューすると、お寺で開催することを選んだ理由や企画内容には高校生ならではの柔軟な発想がありました。

こどもたちの楽しそうな笑顔を見ていると、やって良かったなあ
としみじみ思います

Luck Field代表
神戸市立葺合高等学校3年生
吉野 花さん



Q | こどもの居場所を立ち上げるきっかけは?

小学4年の時に、黒柳徹子さんのエッセイや本を読んで、「自分の恵まれた環境」を初めて自覚しました。そこからこどもの貧困問題や、こどもの居場所づくりに関心を持つようになりました。

高校入学後、市外にあるこどもの居場所にボランティアとして参加して、「高校生だから応えられるニーズがある」と確信しました。自分の住む街には、高校生主体の活動がなかったので、立ち上げようと思いました。

Q | 高校生の強みは?

高校生はこどもたちにとって年齢も近く、身近な存在であり、同じ目線で一緒に勉強して、一緒に遊べるのが強みです。大人や大学生と関わることが難しくても、歳の近い高校生となら話したり活動したりできる子もいます。

また、国際科で学んでいるメンバーが多くいるので、得意な英語を活かした『英語カルタ』など自分たちで作った教材で、楽しみながら学ぶことを伝えています。

Q | 「高校生だけで大丈夫?」と言われない?

居場所の立上げに向けて東灘区社会福祉協議会に相談する中で、安全面への配慮や万が一の際の対応について考えておくことも大切だとアドバイスをいただき、高校生とはいえ子どもを預かる運営者としての責任を実感しました。

会場は地域のみなさんが知っていて安心、信頼できる場所ということでお寺にお願いしていたので、ご住職にはいざという時に大人の手を借りられるようお願いしました。また、居場所の責任者を私の両親にも担ってもらうことで、理解を得ることができました。



Q | まもなく高校卒業…今後の目標は?

卒業後、活動は後輩に引き継いで裏方でサポートしていきます。まずは今後も続いていくことが目標です。将来は、様々な活動を経験しながら、いろんな地域に「みんなのLuck Field」のようなこどもの居場所を広げる活動や仕事をしたいと思っています。



副代表 岡田 響稀さん(右)
HP担当 得平 奏音さん(左)

吉野さんは、何事にも全力で手を抜かない、負けず嫌いな性格。周りを引き込んでいく力があります。

しあわせの村では ともに生きる社会を目指して、社会課題の解決にチャレンジしています

▶障がい者の仕事づくりと就労支援 #KOBESHIAWASENOVILLAGEユニバーサルカレッジ#障がい者実習受け入れセンター#障がい者就労支援#障がい者施設による作品の販売支援#農福連携事業しあわせ農園#聴覚・視覚障がいへの理解(手話・点字講習会)▶パラスポーツ普及拡大#ふれあいスポーツチャレンジ#障がい者スポーツ教室▶障がい者芸術#こころのアート展#手のひらギャラリー▶高齢者の活躍#しあわせの村健康倶楽部#市民サポーターによるフレイルチェック会#神戸市シルバーカレッジ▶子ども・子育て支援プロジェクト#しあわせの村×YMCA森の学校#のびのび運動広場▶しあわせの村のイノベーション#しあわせの村×大学・研究機関(しあわせの村ラボ)#東京大学先端科学研究センターと連携した超短時間雇用への取組み#ユニバーサルデザイン(UD)整備#ユニバーサルデザイン(UD)普及啓発#UD出前授業#ユニバーサルフェスタ▶体験学習やボランティア#ユニバーサル体験学習#大学生、社会人によるボランティア活動▶しあわせの村の魅力向上#こうべ福祉・健康フェア#しあわせの村まつり▶イベントコンシェルジュ▶こうべ医療者応援ファンド

公益財団法人 こうべ市民福祉振興協会
651-1106 神戸市北区しあわせの村 1-1 078-743-8190



おいしい! かわいい! 福祉のお店

QUON CHOCOLATE 神戸店



JR新長田駅から徒歩5分の所にある「QUON CHOCOLATE 神戸店」。
季節に合わせた飾りつけがされたおしゃれな店内や、調理スペースが見える大きな窓、そしてズラリと並んだ色とりどりのチョコレート、訪れるお客さんの気持ちを、ワクワクさせます!



チョコレート本来の味を楽しんでほしいという思いから油分を一切加えないピュアチョコレートを使用した「テリヌ」は久遠チョコレートの看板商品! 店頭には28種類のフレーバーが販売されています。



紙芝居風で分かりやすい説明や作業も高度な技術が必要とならないよう工夫されています。

スタッフはパッキングや製造、接客など多数の作業過程の中から自身の得意を活かせる過程を担当しています。神戸店では看護師や作業療法士による専門的なサポート、フレキシブルな就業時間など、続けて働ける環境が充実しているため、障がいのある方や不登校・引きこもりの若者など様々な人の「働きたい」を実現できる場となっています。また、今後神戸店から卒業して新たなステップに進むことができるようフォローしていきます。

QUON CHOCOLATE 神戸店

神戸市長田区腕塚町5丁目3-1
アスタくにつか1番館南棟1F
TEL: 078-646-3661
(OPEN) 10:00 ~ 18:30
(定休日) 水曜日



SNSで最新情報を発信中!
通販サイトでも販売中

ホームページ



Instagram



～すべての人に踊る喜びを～ バレエスクール アンディオール

アンディオールは、ダウン症をはじめとした障がいのある方のためのバレエスクールです。
バレエを通じて体感と美しい姿勢を身につけ、踊る喜びを味わいましょう。

無料体験レッスン随時受付中
お問合せ **080-3800-1442**
(藤丸)まで

新長田教室
毎週火曜日、場所:新長田合同庁舎1階 スタジオA
時間: 4歳~/16:30 ~ 17:20・小学校高学年~大人まで/17:30 ~ 18:20
対象: ダウン症またはその他の障がいをお持ちの方、およびその兄弟姉妹

西宮北口教室
毎月第1・第3土曜日、場所:エビータの森2階 B教室
時間: 4歳~/10:00 ~ 11:00(親子クラス)・小学校高学年~大人まで/11:10 ~ 12:00
対象: ダウン症またはその他の障がいをお持ちの方、およびその兄弟姉妹と保護者の方



ご寄付を
ありがとう
ございます

【善意銀行】

2021年10月~2022年12月末

みなさまの善意を
神戸市の福祉活動に役立てます

※寄付をしていただいた個人・法人は、所得税・法人税の優遇措置が受けられます。
《ご承諾をいただいた方のみ掲載しています》
(敬称略)

預託の部・金銭口座

ジブラルタ生命保険株式会社、白鶴酒造株式会社、旧東灘区保健部管理職会、東洋羽毛関西販売株式会社 神戸営業所、神戸市職員信用組合、株式会社FELIX、みなと銀行従業員組合、高松 健司、KOB NIGHT FES実行委員会 匿名 25件

預託の部・物品口座

パナソニックアプライアンス労働組合、大田原商事株式会社、株式会社 アシックス、株式会社丸井 神戸マルイ、ソニーカスタマーサービス株式会社、日本イーライリリー株式会社、Delivery Hero Japan Foodpanda株式会社 神戸支社、トレンド・リーチ株式会社、社会保険診療報酬支払基金 兵庫支部、岡本株式会社、神戸市職員信用組合、富士めくみ製菓株式会社、I&H株式会社、株式会社フォーラムエンジニアリング 製麺センター、兵庫信用金庫、有限会社創和ハウジング、小西 悠紀、マルハン森友北店、UAゼンセン兵庫県支部、川崎重工業株式会社 匿名 3件

払出の部・金銭口座

色彩楽園、リレー・フォー・ライフ・ジャパン 神戸実行委員会、兵庫県肢体障害者協会、社会福祉法人 神戸市母子福祉たちばな会、神戸市乳児院連盟、双葉学園

払出の部・物品口座

神戸市児童養護施設連盟、家庭養護促進協会、神戸市母子生活支援施設協議会、神戸市乳児院連盟、神戸ろうあ協会、神戸市内の在宅福祉センター・高齢者福祉施設・大学・子どもの居場所作り運営団体・ボランティア団体・その他福祉団体及び生活困窮者等

社会福祉推進基金

(株)シンクスコーポレーション 匿名 1件

ウクライナから神戸市内へ避難された方々を支援するための募金を実施しました

実施期間: 令和4年4月11日~
令和4年12月30日

計238件(総額6,877,903円)のご寄付をお寄せいただきました。

お預かりしましたご厚志は、神戸市内に避難された方々のくらしの一助となるよう活用させていただきます。みなさまのあたにかいご支援ありがとうございました。

※活用後に生じた残金は、日本赤十字社が実施する「ウクライナ人道危機救援金」に寄付いたします。

(株)シンクスコーポレーション様より多額のご寄付をいただきました



企業として事業展開される一方で、拠点を置く各地域の一員として社会に貢献するという企業理念のもと、今回「子どもたちのために役立ててほしい」との想いでご寄付いただきました。

貴重なご厚志は子どもたちの福祉の心を育む「福祉体験学習(ワークキャンプ)事業」に活用させていただきます。

株式会社エクシオテック様よりご寄付をいただきました

令和4年10月5日、株式会社エクシオテック様より神戸市立点字図書館(本会運営)に対し、令和4年12月3日(土)に開催しました「第11回視覚障がい者向け福祉機器展~エンジョイ!グッズ展~」にて役立ててほしいとご寄付をいただきました。誠にありがとうございました。

障害者スポーツ振興センターのご紹介

障害者スポーツ振興センターでは、障害者スポーツ教室・障害者スポーツ大会の開催や、それを支えるスポーツリーダーの養成・派遣、地域に出向いて障害者スポーツに触れる機会づくりなど、さまざまな活動を行っています。当センターホームページに詳細を記載していますので、ぜひアクセスください。

TEL: 078-271-5330 / FAX: 078-271-5367 / Mail: office@kobesad.jp



HP: http://kobesad.jp/

兵庫県ボランティア活動等行事用保険のご案内

この保険はボランティアグループ・市民活動団体が行事を主催する場合のもの時に備えた保険です。傷害保険と賠償責任保険がセットになっており、行事をされる際には、ぜひご検討ください。

**1名50円、1日1,000円より
ご加入いただけます。
宿泊を伴う行事もごさいます。**



お問い合わせ (神戸市社会福祉協議会 ボランティア情報センター)
TEL: 078-271-5317

取扱代理店 (株)兵庫福祉保険サービス
TEL: 078-735-0166
引受保険会社: 三井住友海上火災保険株式会社